

平成27年6月30日

各 位

会社名 **フタバ産業株式会社**
代表者名 取締役社長 三島 康博
コード番号 7241 東証・名証第1部
お問合せ先 上席執行役員 小木曾 伸一
TEL (0564) 31-2211

(訂正) 「平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の再訂正について

当社は、平成27年5月11日に一部訂正を発表した「平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」を再訂正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由および経緯

訂正の理由および経緯につきましては、平成27年6月30日付け「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 フタバ産業株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7241 URL http://www.futabasangyo.com
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 三島 康博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 佐々木 康夫 TEL 0564-31-2211
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	289,828	6.0	429	—	254	—	△1,050	—
25年3月期第3四半期	273,424	3.3	△756	—	△2,587	—	△3,634	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 7,838百万円(—%) 25年3月期第3四半期 △2,071百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△15.02	—
25年3月期第3四半期	△51.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	238,388	56,446	17.8
25年3月期	225,314	49,691	16.2

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 42,332百万円 25年3月期 36,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年3月期の期末配当につきましては、未定としております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	385,000	5.4	1,500	—	300	—	100	—	1.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、【添付資料】2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	70,049,627株	25年3月期	70,049,627株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	96,214株	25年3月期	95,211株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	69,953,971株	25年3月期3Q	69,955,107株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、その情報の不確実性のほか、今後の経済情勢、市場動向、株価・為替動向等の状況変化により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では緩やかな回復を続けており、欧州も底打ちから緩やかな持ち直しへと転じつつあるものの、本格的な回復には至っておりません。また、中国経済が緩やかな減速傾向にあることや、インドを始めとした新興国においても成長鈍化が引き続くなど、総じて厳しい状況にあります。

国内経済は、第2次安倍政権発足以降、金融緩和による消費拡大と財政政策による内需の底上げが生じ、景気は回復基調となりましたが、世界経済の先行きは依然として不透明であり、予断を許さない状況が続いております。

当社グループの主要取引先であります自動車業界における世界需要は、北米において緩やかながら回復基調を示したものの、欧州においては依然として低迷しております。また、中国においては日中関係の冷え込みの影響もあり、やや低迷しております。国内市場においてはエコカー補助金の政策効果一巡に伴う販売減もあり、やや弱い動きとなっております。

こうした状況のなか、当社グループにおいては、生産体制の見直し、生産効率の向上、原価改善の推進及び物流費の低減などの収益改善活動等に積極的に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,898億円(前年同四半期比6.0%増)となり、営業利益は4億円(前年同四半期は7億円の営業損失)、経常利益は2億円(前年同四半期は25億円の経常損失)、四半期純損失は10億円(前年同四半期は36億円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

売上高はエコカー補助金の政策効果一巡に伴う販売減の影響により、1,824億円(前年同四半期比0.9%減)となりました。セグメント利益は20億円(前年同四半期は4億円のセグメント損失)となりました。

②北米

売上高は535億円(前年同四半期比27.6%増)となりました。セグメント損失は13億円(前年同四半期は14億円のセグメント損失)となりました。

③欧州

売上高は175億円(前年同四半期比23.1%増)となりました。セグメント損失は6億円(前年同四半期は6億円のセグメント損失)となりました。

④アジア

売上高は495億円(前年同四半期比16.3%増)となりました。セグメント利益は6億円(前年同四半期比60.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産については、有形固定資産の増加、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べて130億円増加し、2,383億円となりました。負債については、借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べて63億円増加し、1,819億円となりました。純資産については、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べて67億円増加し、564億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年10月30日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

一部の連結子会社における税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,888	18,457
受取手形及び売掛金	46,318	46,700
製品	4,014	4,392
仕掛品	10,478	10,336
原材料及び貯蔵品	3,916	4,107
繰延税金資産	4	4
その他	7,629	8,637
貸倒引当金	△24	△20
流動資産合計	90,225	92,614
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	29,397	31,817
機械装置及び運搬具 (純額)	44,784	49,873
工具、器具及び備品 (純額)	3,836	4,940
土地	14,434	14,763
リース資産 (純額)	4,644	3,979
建設仮勘定	10,233	8,350
有形固定資産合計	107,331	113,724
無形固定資産		
1,119		917
投資その他の資産		
投資有価証券	20,904	25,038
長期貸付金	2,005	1,998
繰延税金資産	555	722
その他	5,618	5,817
貸倒引当金	△2,444	△2,444
投資その他の資産合計	26,638	31,132
固定資産合計	135,089	145,774
資産合計	225,314	238,388

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,802	45,403
短期借入金	41,825	47,237
1年内返済予定の長期借入金	8,315	10,036
リース債務	4,047	3,403
未払法人税等	267	444
未払消費税等	722	411
リコール損失引当金	27	—
未払費用	7,908	7,940
その他	6,160	7,777
流動負債合計	115,077	122,655
固定負債		
長期借入金	40,702	37,744
リース債務	1,272	926
繰延税金負債	8,147	9,737
退職給付引当金	9,507	9,986
役員退職慰労引当金	88	82
製品保証引当金	344	344
資産除去債務	189	189
その他	292	275
固定負債合計	60,545	59,286
負債合計	175,623	181,942
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,820	11,820
資本剰余金	10,413	8,616
利益剰余金	6,857	7,837
自己株式	△147	△147
株主資本合計	28,943	28,125
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,588	11,265
為替換算調整勘定	△1,102	2,940
その他の包括利益累計額合計	7,486	14,206
少数株主持分	13,261	14,114
純資産合計	49,691	56,446
負債純資産合計	225,314	238,388

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	273,424	289,828
売上原価	261,578	275,877
売上総利益	11,846	13,951
販売費及び一般管理費	12,602	13,521
営業利益又は営業損失(△)	△756	429
営業外収益		
受取利息	243	277
受取配当金	262	317
作業くず売却益	194	219
持分法による投資利益	—	26
為替差益	32	297
デリバティブ評価益	—	30
雑収入	495	563
営業外収益合計	1,227	1,732
営業外費用		
支払利息	997	919
固定資産廃棄損	444	519
持分法による投資損失	1,125	—
デリバティブ評価損	61	—
雑損失	429	467
営業外費用合計	3,059	1,907
経常利益又は経常損失(△)	△2,587	254
特別損失		
投資有価証券評価損	129	—
特別損失合計	129	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,716	254
法人税等	440	810
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,156	△555
少数株主利益	478	495
四半期純損失(△)	△3,634	△1,050

四半期連結包括利益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	<u>△3,156</u>	<u>△555</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	635	2,669
為替換算調整勘定	334	5,293
持分法適用会社に対する持分相当額	115	431
その他の包括利益合計	<u>1,085</u>	<u>8,394</u>
四半期包括利益	<u>△2,071</u>	<u>7,838</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△2,593</u>	<u>5,668</u>
少数株主に係る四半期包括利益	522	2,170

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

①資本準備金の額の減少及び剰余金の処分に関する事項

当社は、平成25年5月23日の取締役会において、会社法第459条第1項の規定に基づく定款の定めにより、資本準備金の額の減少及び剰余金の処分について決議いたしました。

1 資本準備金の額の減少及び剰余金の処分の目的

資本準備金の額を減少し剰余金の処分を行うことによって、繰越利益剰余金の欠損を填補するもの。

2 資本準備金の額の減少の要領

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金を減少しその他資本剰余金に振替えるもの。

(1) 減少する準備金の項目及びその額

資本準備金	1,797百万円
-------	----------

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金	1,797百万円
----------	----------

3 剰余金の処分の要領

会社法第452条の規定に基づき、上記2で振替えたその他資本剰余金をさらに繰越利益剰余金に振替え、欠損を填補するもの。

(1) 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金	1,797百万円
----------	----------

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金	1,797百万円
---------	----------

4 資本準備金の額の減少及び剰余金の効力の発生日

(1) 取締役会決議日	平成25年5月23日
-------------	------------

(2) 効力発生日	平成25年5月23日
-----------	------------

②持分法適用に関する事項

前連結会計年度において持分法非適用会社であった関連会社1社は、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間から持分法の適用の範囲に含めております。この結果、当第3四半期連結累計期間の期首において、利益剰余金が、233百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、利益剰余金が、7,837百万円となっております。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	174,785	41,957	14,257	42,424	273,424	—	273,424
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,306	0	0	168	9,475	△9,475	—
計	184,091	41,957	14,257	42,592	282,899	△9,475	273,424
セグメント利益又は損失 (△)	△428	△1,416	△612	1,612	△845	89	△756

(注) 1 セグメント損失の調整額89百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	169,475	53,520	17,542	49,288	289,828	—	289,828
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,984	0	6	265	13,257	△13,257	—
計	182,460	53,521	17,549	49,554	303,085	△13,257	289,828
セグメント利益又は損失 (△)	2,015	△1,387	△641	639	626	△196	429

(注) 1 セグメント利益の調整額△196百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正前)



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 フタバ産業株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7241 URL <http://www.futabasangyo.com>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 三島 康博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 佐々木 康夫 TEL 0564-31-2211
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	289,828	6.0	429	—	△1,175	—	△2,481	—
25年3月期第3四半期	273,424	3.3	△756	—	△1,634	—	△2,681	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 6,413百万円(—%) 25年3月期第3四半期 △1,113百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△35.47	—
25年3月期第3四半期	△38.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	238,463	56,521	17.8
25年3月期	226,567	50,944	16.6

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 42,406百万円 25年3月期 37,682百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年3月期の期末配当につきましては、未定としております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	385,000	5.4	1,500	—	300	—	100	—	1.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、【添付資料】2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	70,049,627株	25年3月期	70,049,627株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	96,214株	25年3月期	95,211株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	69,953,971株	25年3月期3Q	69,955,107株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、その情報の不確実性のほか、今後の経済情勢、市場動向、株価・為替動向等の状況変化により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では緩やかな回復を続けており、欧州も底打ちから緩やかな持ち直しへと転じつつあるものの、本格的な回復には至っておりません。また、中国経済が緩やかな減速傾向にあることや、インドを始めとした新興国においても成長鈍化が引き続くなど、総じて厳しい状況にあります。

国内経済は、第2次安倍政権発足以降、金融緩和による消費拡大と財政政策による内需の底上げが生じ、景気は回復基調となりましたが、世界経済の先行きは依然として不透明であり、予断を許さない状況が続いております。

当社グループの主要取引先であります自動車業界における世界需要は、北米において緩やかながら回復基調を示したものの、欧州においては依然として低迷しております。また、中国においては日中関係の冷え込みの影響もあり、やや低迷しております。国内市場においてはエコカー補助金の政策効果一巡に伴う販売減もあり、やや弱い動きとなっております。

こうした状況のなか、当社グループにおいては、生産体制の見直し、生産効率の向上、原価改善の推進及び物流費の低減などの収益改善活動等に積極的に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,898億円(前年同四半期比6.0%増)となり、営業利益は4億円(前年同四半期は7億円の営業損失)、経常損失は11億円(前年同四半期は16億円の経常損失)、四半期純損失は24億円(前年同四半期は26億円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

売上高はエコカー補助金の政策効果一巡に伴う販売減の影響により、1,824億円(前年同四半期比0.9%減)となりました。セグメント利益は20億円(前年同四半期は4億円のセグメント損失)となりました。

②北米

売上高は535億円(前年同四半期比27.6%増)となりました。セグメント損失は13億円(前年同四半期は14億円のセグメント損失)となりました。

③欧州

売上高は175億円(前年同四半期比23.1%増)となりました。セグメント損失は6億円(前年同四半期は6億円のセグメント損失)となりました。

④アジア

売上高は495億円(前年同四半期比16.3%増)となりました。セグメント利益は6億円(前年同四半期比60.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産については、有形固定資産の増加、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べて118億円増加し、2,384億円となりました。負債については、借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べて63億円増加し、1,819億円となりました。純資産については、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べて55億円増加565億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年10月30日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

一部の連結子会社における税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,888	18,457
受取手形及び売掛金	46,318	46,700
製品	4,014	4,392
仕掛品	10,478	10,336
原材料及び貯蔵品	3,916	4,107
繰延税金資産	4	4
その他	7,629	8,637
貸倒引当金	△24	△20
流動資産合計	90,225	92,614
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,397	31,817
機械装置及び運搬具(純額)	44,784	49,873
工具、器具及び備品(純額)	3,836	4,940
土地	14,434	14,763
リース資産(純額)	4,644	3,979
建設仮勘定	10,233	8,350
有形固定資産合計	107,331	113,724
無形固定資産		
1,119		917
投資その他の資産		
投資有価証券	22,156	25,112
長期貸付金	2,005	1,998
繰延税金資産	555	722
その他	5,618	5,817
貸倒引当金	△2,444	△2,444
投資その他の資産合計	27,891	31,206
固定資産合計	136,342	145,848
資産合計	226,567	238,463

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,802	45,403
短期借入金	41,825	47,237
1年内返済予定の長期借入金	8,315	10,036
リース債務	4,047	3,403
未払法人税等	267	444
未払消費税等	722	411
リコール損失引当金	27	—
未払費用	7,908	7,940
その他	6,160	7,777
流動負債合計	115,077	122,655
固定負債		
長期借入金	40,702	37,744
リース債務	1,272	926
繰延税金負債	8,147	9,737
退職給付引当金	9,507	9,986
役員退職慰労引当金	88	82
製品保証引当金	344	344
資産除去債務	189	189
その他	292	275
固定負債合計	60,545	59,286
負債合計	175,623	181,942
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,820	11,820
資本剰余金	10,413	8,616
利益剰余金	8,110	7,906
自己株式	△147	△147
株主資本合計	30,196	28,195
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,588	11,265
為替換算調整勘定	△1,102	2,944
その他の包括利益累計額合計	7,486	14,210
少数株主持分	13,261	14,114
純資産合計	50,944	56,521
負債純資産合計	226,567	238,463

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	273,424	289,828
売上原価	261,578	275,877
売上総利益	11,846	13,951
販売費及び一般管理費	12,602	13,521
営業利益又は営業損失(△)	△756	429
営業外収益		
受取利息	243	277
受取配当金	262	317
作業くず売却益	194	219
為替差益	32	297
デリバティブ評価益	—	30
雑収入	495	563
営業外収益合計	1,227	1,705
営業外費用		
支払利息	997	919
固定資産廃棄損	444	519
持分法による投資損失	172	1,403
デリバティブ評価損	61	—
雑損失	429	467
営業外費用合計	2,106	3,310
経常損失(△)	△1,634	△1,175
特別損失		
投資有価証券評価損	129	—
特別損失合計	129	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,763	△1,175
法人税等	440	810
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,203	△1,986
少数株主利益	478	495
四半期純損失(△)	△2,681	△2,481

四半期連結包括利益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△2,203</u>	<u>△1,986</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	640	2,669
為替換算調整勘定	334	5,293
持分法適用会社に対する持分相当額	115	<u>436</u>
その他の包括利益合計	<u>1,089</u>	<u>8,399</u>
四半期包括利益	<u>△1,113</u>	<u>6,413</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△1,636</u>	<u>4,243</u>
少数株主に係る四半期包括利益	522	2,170

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

①資本準備金の額の減少及び剰余金の処分に関する事項

当社は、平成25年5月23日の取締役会において、会社法第459条第1項の規定に基づく定款の定めにより、資本準備金の額の減少及び剰余金の処分について決議いたしました。

1 資本準備金の額の減少及び剰余金の処分の目的

資本準備金の額を減少し剰余金の処分を行うことによって、繰越利益剰余金の欠損を填補するもの。

2 資本準備金の額の減少の要領

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金を減少しその他資本剰余金に振替えるもの。

(1) 減少する準備金の項目及びその額

資本準備金	1,797百万円
-------	----------

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金	1,797百万円
----------	----------

3 剰余金の処分の要領

会社法第452条の規定に基づき、上記2で振替えたその他資本剰余金をさらに繰越利益剰余金に振替え、欠損を填補するもの。

(1) 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金	1,797百万円
----------	----------

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金	1,797百万円
---------	----------

4 資本準備金の額の減少及び剰余金の効力の発生日

(1) 取締役会決議日	平成25年5月23日
-------------	------------

(2) 効力発生日	平成25年5月23日
-----------	------------

②持分法適用に関する事項

前連結会計年度において持分法非適用会社であった関連会社2社は、重要性が認められるため、当第1四半期連結会計期間から持分法の適用の範囲に含めております。この結果、当第1四半期連結会計期間の期首において、利益剰余金が、481百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、利益剰余金が、7,906百万円となっております。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	合計 (注)2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	174,785	41,957	14,257	42,424	273,424	—	273,424
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,306	0	0	168	9,475	△9,475	—
計	184,091	41,957	14,257	42,592	282,899	△9,475	273,424
セグメント利益又は損失(△)	△428	△1,416	△612	1,612	△845	89	△756

(注)1 セグメント損失の調整額89百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	合計 (注)2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	169,475	53,520	17,542	49,288	289,828	—	289,828
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,984	0	6	265	13,257	△13,257	—
計	182,460	53,521	17,549	49,554	303,085	△13,257	289,828
セグメント利益又は損失(△)	2,015	△1,387	△641	639	626	△196	429

(注)1 セグメント利益の調整額△196百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。